保証書付
（裏表紙）

W 節水 洋風タンク密結便器

取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき
誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に、大切に保管してください。

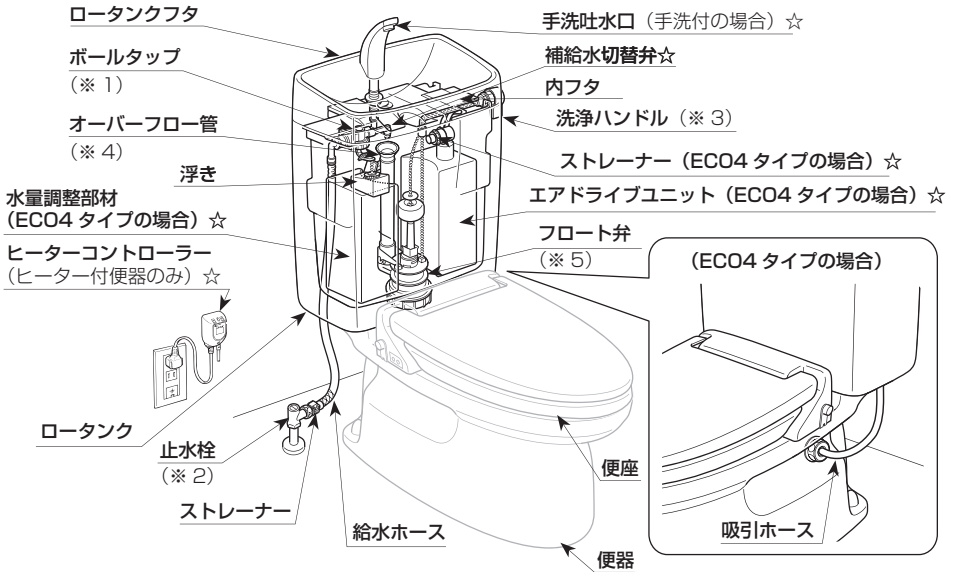
この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
転居される場合、次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

もくじ

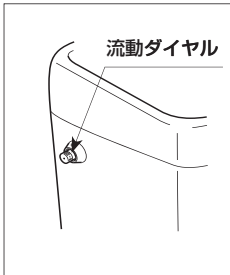
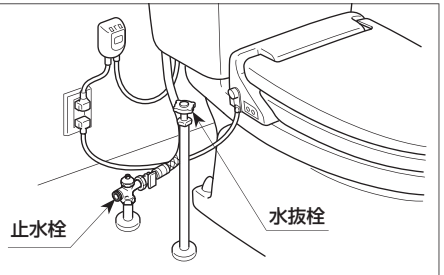
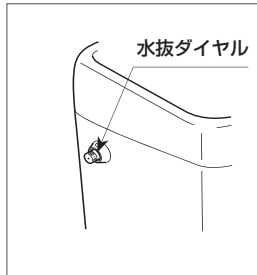
袋:PE

各部のなまえと働き

■全体図

※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。

（※ 1）**ボールタップ**	（※ 2）**止水栓**	（※ 3）**洗浄ハンドル**	（※ 4）**オーバーフロー管**	（※ 5）**フロート弁**
浮きの働きにより、一回分の洗浄水をロータンク内に供給する弁です。	水道の水はここを通って、ロータンク内へ給水されます。止水栓はこの水を止めたり、水量調節を行うための弁です。	フロート弁を持ち上げてロータンク内の洗浄水を便器に流出させるためのハンドルです。	万一、不具合が生じて給水が止まらなくなったとき、ロータンクから水があふれないように、便器の方へ流す役目をします。	洗浄ハンドル操作により、ロータンク内の水を便器に排出させる弁です。

流動式の場合

水抜式の場合

※水抜栓は当社製品ではありません。

安全上のご注意（お使いになる前に必ずお読みください。）

● ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
● ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

警告・・・「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意・・・「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠・・・「 注意しなさい！」（上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

禁止・・・この表示は、してはいけない「禁止」の記号です。

指示実行・・・この表示は、必ず実行していただく「強制」の記号です。

⚠ 警告

バスルームなど湿気の多い場所には設置しないでください。

※感電・火災の原因になります。

〈100V 電源使用の場合〉

警告

修理技術者以外の人は、ヒーターコントローラーなどの電気部品を分解したり修理・改造は行わないでください。

分解禁止

※ 感電・火災・ケガの原因になります。

〈100V 電源使用の場合〉

ガタついているコンセントは使用しないでください。

※ 感電・火災の原因になります。

〈100V 電源使用の場合〉

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。

※感電の原因になります。

〈100V 電源使用の場合〉

● ヒーターやヒーターコントローラーが破損した場合、ただちにコンセントから電源プラグを抜き、修理を依頼してください。

指示実行

※ 感電・火災の原因になります。

● ロータンクおよび給水部から漏水した場合、コンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉めてください。

※ 感電・火災・室内浸水の原因となります。

〈100V 電源使用の場合〉

電源プラグやヒーターコントローラーに水や洗剤をかけないでください。

※ 感電・火災の恐れがあります。

〈100V 電源使用の場合〉

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。

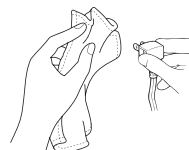
禁止

※ 電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。

〈100V 電源使用の場合〉

電源プラグにホコリがたまらないよう、コンセントから抜いて定期的に乾いた布でふき取ってください。

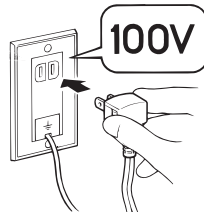
※ホコリが火災の原因になります。

〈100V 電源使用の場合〉

凍結の恐れがある場合は、必ず凍結防止操作を行ってください。

※ 凍結破損により室内浸水の原因になります。

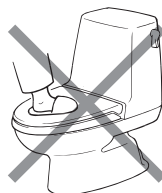
⚠ 警告

● 交流 100V 以外では使用しないでください。
● タコ足配線など定格をこえる使い方をしないでください。
※ 火災の原因になります。

〈100V 電源使用の場合〉

⚠ 注意

電源プラグやヒーターコントローラーに、便座に使用できる洗剤以外 (トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾール) は使用しないでください。
※プラスチック部が割れてケガの原因になります。

〈100V 電源使用の場合〉

便フタやカバーの上に乗らないでください。
※ 破損してケガをすることがあります。

タバコや灰皿などの火気類を近づけないでください。
※火災の原因になります。

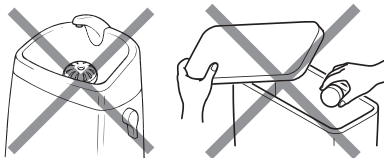
給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしないでください。
※ 漏水し室内浸水の原因になります。

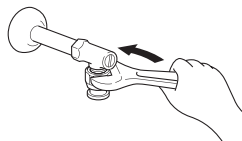
⚠ 注意

ロータンクや便器の陶器部にヒビが入ったり、割れたりしたら破損部は絶対に触らないでください。

※ 破損部でケガをすることがあります。
早めに交換してください。

ロータンクに芳香洗浄剤や薬品、石けん等を置いたり、タンク内部に入れたりしないでください。また清掃時に、酸性・アルカリ性・塩素系の洗剤を使用しないでください。

※ 漏水や止水不良、作動不良の原因になります。

給水ホースの接続は確実に行ってください。

※ 袋ナットの締め付けが不十分ですと漏水の原因になります。

手洗付の場合、ロータンクフタ、手洗接続管を外した際は、元の接続状態に戻してください。

※ 正しく接続されていないと漏水の原因となります。

長期間使用しない場合は、水抜き操作を行ってください。

※ 凍結破損により室内浸水の原因になります。

ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。

※ 漏水し、室内浸水の原因になります。

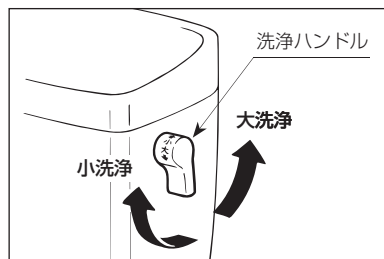
ご使用方法

便座については、便座の取扱説明書を必ずご覧ください。

■便器鉢内の洗浄のしかた

用便後、便器内を洗浄する（汚物を流す）場合、洗浄ハンドルを矢印の方向に回してください。

小洗浄： 小用の場合にお使いになると洗浄水が少なくてすみます。

大洗浄： 大用の場合にお使いください。

注意

●女性の小用で紙をたくさん使用した場合、小洗浄で使用されますと紙が流れない場合がありますので大洗浄の方でご使用ください。

●一回目の便器内洗浄から間をおかずに二回目を行うと洗浄ができない場合があります。このようなときはしばらく間を置いてから洗浄ハンドルを操作してください。

●洗浄水量（1 回の便器洗浄で使用する水量）は、流動圧 0.2MPa の場合のものです（一部商品を除く）。

●洗浄水量は現場水圧条件や施工条件等により変動することがあります。

■断水したときの便器鉢内の洗浄のしかた

バケツ 1 杯（5 ～ 6L）の水を、水とびに注意しながら一気に流し込んで汚物を排出してください。最後に、便器内の水位が通常の高さになるように 3 ～ 4L の水を注いでください。

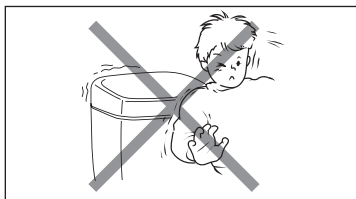
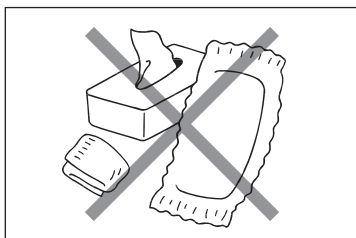
※ うまく汚物が流れないときは流し込みをより早く（短時間に一気に）して、再度行ってください。

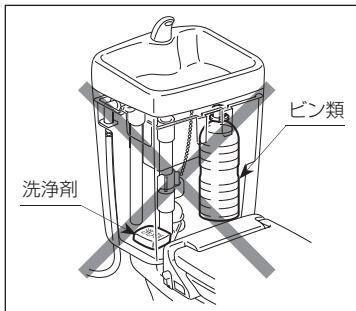
※ 小洗浄も同じように流してください。

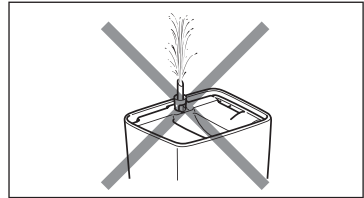
ご使用上の注意

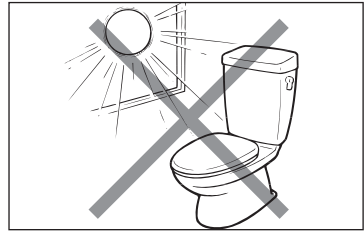
■故障を起こさないために守ってください

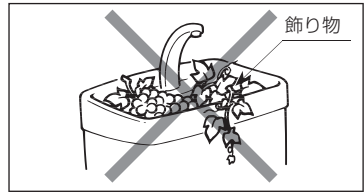
注意

- ロータンクや便器に衝撃を与えないでください。また熱湯をそそがないでください。
  ※衝撃で破損したり、金具類が外れて漏水の原因になります。

- 便器には、新聞紙、紙おむつ、ティッシュペーパー、生理用品等は流さないでください。
  ※便器が詰まり汚水があふれる原因になります。
  必ずトイレットペーパーをご使用ください。

- クシ、ボールペン、歯ブラシ等を誤って便器鉢内に落とした場合は、水を流す前に必ず拾い出してください。
  ※便器が詰まり、汚水があふれる原因になります。

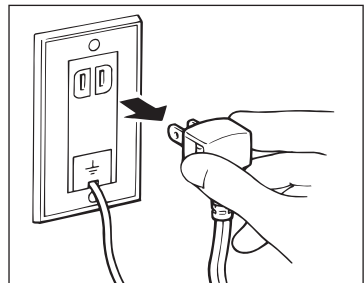
- ロータンク内にビンやレンガ、洗浄剤などの異物を入れないでください。
  ※内部金具に干渉して故障を起こす場合があります。
  ※水量不足により、洗浄不良・便器詰まりを起こし汚水があふれる原因になります。

●手洗付の場合、ロータンクフタを外したままご使用にならないでください。

※手洗用の水が周囲に飛び散り、床や壁を汚します。

●直射日光が当たらないようにしてください。

※直射日光により樹脂部（便座・便フタ）が変色することがあります。

●手洗付の場合、手洗鉢に飾り物を置かないでください。

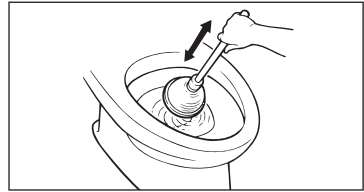
※タンク内に落ちると内部金具に干渉して故障を起こす場合があります。

●雷が発生しているときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

※コンセントから電源プラグを抜かないと雷の影響により故障の原因になります。

〈100V 電源使用の場合〉

●樹脂部にストーブやヒーターなどを近付けすぎないでください。

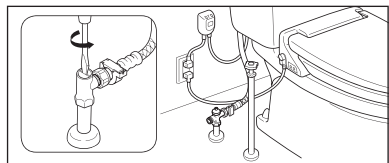
※変色や故障の原因になります。

●便器に汚物が付着して、便器洗浄しても容易に落ちないときは、樹脂製のブラシで掃除してください。

●万一詰まった場合には、市販の吸引器（商品名：ラバーカップ）を使って取り除いてください。
※詰まったまま水を流すと、便器から汚水があふれます。

●汚物の大きさ、量、比重の違いやトイレットペーパーの量、種類によっては、1 回の洗浄で完全に流れきれずに残ることがあります。
大洗浄で 1 度に流すトイレットペーパーの量は 5m 程度を目安にしてください。便器が詰まり汚水があふれる原因になります。
なおトイレットペーパーの量については JIS の規格を参考にしております。

●トイレットペーパーの使用量が多いときは排水路でサイホン現象が起き、便器に溜まる水の量が少なくなる場合があります。このようなときは再度洗浄して便器に水を溜めてください。
※便器の溜水が少ないと、鉢汚れや排水不良、臭気の原因になる場合があります。

●フタおよび便座の開閉は静かに行い、衝撃を加えないでください。
※衝撃で破損する原因になります。

●水抜式で止水栓付便器の場合、止水栓は必ず全開でご使用ください。
※凍結の恐れがあります。

●手洗付の場合、手洗鉢にトイレットペーパーやゴミを流さないでください。また、手洗鉢でぞうきんやモップを洗わないでください。
※漏水や止水不良の原因になります。

●手洗無（樹脂タンク）の場合、重量物や先のとがった物を置いたり、落としたりしないでください。
※傷つきや破損の原因になります。

■結露の注意

室温と便器タンクの表面温度差や湿度により、便器・タンクの表面に水滴が生じることがあります（結露）。結露を防ぐためには、換気を十分にしてください。なお結露水が生じた場合は、乾いた布でふきとってください。
※結露水は床のしみや破損の原因になります。
※防露タンク、防露便器の場合は結露しにくい構造になっています。

■ KILAMIC 抗菌商品についての注意

1. KILAMIC 抗菌商品は表面に菌が付着したときに抗菌効果を発揮し、菌の働きによる汚れの生成を抑制します。ホコリ・油膜等が表面を覆った場合、この上に付着する菌に対しては充分な抗菌効果を発揮できません。
2. KILAMIC 抗菌商品は菌の繁殖を抑制する効果を持ちますが、菌がまったくなくなるわけではありません。したがって、本商品により感染等が完全に防げるわけではありません。

〔便器、タンクで使用している抗菌剤について〕

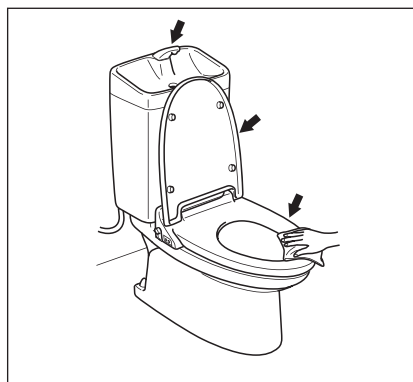
部位	添加物質名
陶器	銀
洗浄ハンドル （メッキハンドル除く）	酸化亜鉛

お手入れ方法

便器や付属金具、便座はお手入れせずに放置しておきますと、光沢を失うばかりでなく、部品によっては、使用に不具合を生じることにもなりかねません。常日頃からこまめにお手入れをしてください。

なお、クレンザー、磨き粉は表面を傷つけますのでお使いにならないでください。

■便座・便フタ・手洗吐水口等のお手入れ（樹脂部）

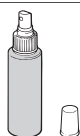
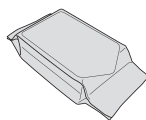
- 便座、便フタ、手洗吐水口等は樹脂製です。柔らかい布でからぶきをしてください。
- 頑固な汚れには、**シャワートイレお掃除クリーナー・おそうじティッシュ（別売品）**をお使いください。もしくは、薄めた中性洗剤をしみこませた布で拭き、その後すぐに水拭きをし、乾いた布で拭き取ってください。

注意

表面をキズつける恐れがある以下のものは使用しないでください。

- クレンザー、磨き粉
- 中性洗剤以外の洗剤
- シンナー、ベンジン等の溶剤
- 酸、アルカリ、熱湯
- 金属たわし、ナイロンたわし、ブラシ等

■シャワートイレお掃除クリーナー
（品番：CWA-20）

■おそうじティッシュ
（品番：CWA-36-4SET）

トイレ用洗剤や住宅用洗剤などで便座などの樹脂をお手入れすると割れて事故につながることがあります。便座や便フタの樹脂部には、シャワートイレお掃除クリーナーをお使いください。
（購入方法は、30 ページ“別売品の購入方法”をご覧ください。）

シャワートイレお掃除クリーナー

おそうじティッシュ

●ヒーター付便器の場合、特に次のことに注意してください。

注意

お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

警告

電源プラグやヒーターコントローラーに水や洗剤をかけないでください。

水かけ禁止

※ 感電・火災の恐れがあります。

〈100V 電源使用の場合〉

⚠ 注意

電源プラグやヒーターコントローラーに、便座に使用できる洗剤以外 (トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾール) は使用しないでください。

禁止

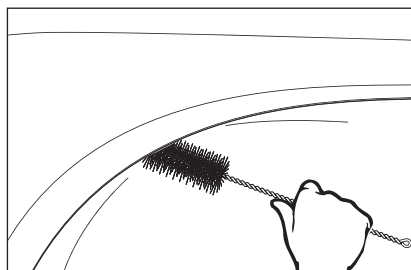
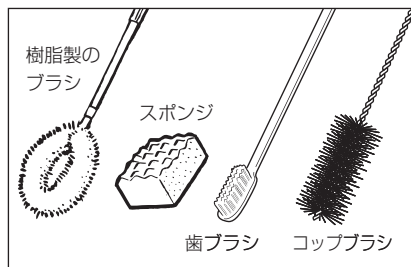
※プラスチック部が割れてケガの原因になります。

〈100V 電源使用の場合〉

■便器のお手入れ（陶器部）

樹脂製のブラシやスポンジに中性洗剤を染み込ませ、水またはぬるま湯で洗ってください。
リム奥の狭い部分の汚れについては、歯ブラシやコップブラシ等を使って掃除してください。

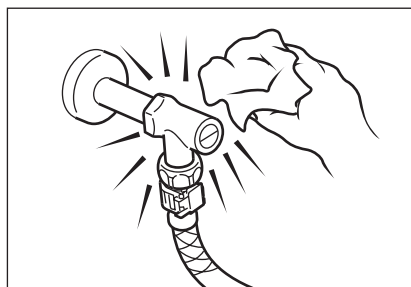
注意

●熱湯はお使いにならないでください。
　※便器が破損することがあります。
●ガラス質を侵すフッ素化合物入の洗剤はお使いにならないでください。
　※表面が侵されます。

■止水栓のお手入れ（メッキ部）

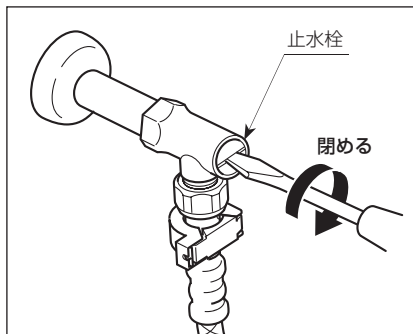
●汚れは乾いた柔らかい布でふきとってください。それでも落ちないときは水ぶきし、最後にからぶきしてください。
●月に一度くらいミシン油やカーワックスを染み込ませた布でふくと、輝きを保てます。

注意

壁面のタイル等をカビ取り剤等で洗浄して、
メッキ部に酸等が付着した場合は、十分水洗いしてください。
　※酸性洗剤はメッキを侵します。

●表面をキズつける恐れがある以下のものは使用しないでください。
- ●クレンザー、磨き粉等の粒子の粗い洗剤
- ●ナイロンたわし、ブラシ等
- ●酸性洗剤、塩素系漂白剤
- ●シンナー、ベンジン等の溶剤

長期間使用しない場合

旅行などで長い間使用しないときは万一の故障のために以下の操作を行ってください。

1. 止水栓をマイナスドライバー等で右に回して、ロータンクへの給水を止めます。
   再使用時は全開にします。
   水抜式便器をお使いの方は水抜栓を操作してロータンクへの給水を止めます。

注意

止水栓を閉めた後、再び開く場合は必ず全開にして、1/4 回転程度戻してください。

2. 凍結の恐れがある地域では凍結破損防止のため洗浄ハンドルを操作して、ロータンク内の水を完全に抜きます。また、便器内にたまっている水をすべて抜き、凍結しないようにしてください。水を抜いた後に、不凍液を入れる、もしくはバスタオルなどを詰めて、排水口をふさいでください。

   ※ 不凍液はそのまま流さないでください。
   （不凍液は、便器ご使用開始前に回収し、廃棄処理してください。浄化槽への悪影響や、環境汚染などの恐れがあります。）

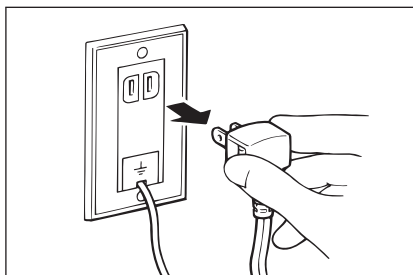
   ※ バスタオルなどでふさぐ場合は、大きな布でしっかりふさいでください。
   （下水配管から、異臭や害虫などが侵入する恐れがあります。）

   ※ バスタオルなどを流さないでください。
   （排水管つまりの原因となります。）

   ※ 水抜式便器の場合は 15 ページを参照してください。

   ※ 水抜式便器以外の場合は、洗浄ハンドルをしばらく回したままにしてロータンク内の水を完全に抜いてください。

3. ヒーター付便器の場合は、コンセントから電源プラグを抜いてください。

   ※ 万一の故障にも安心です。

冬期凍結の恐れがある場合

冬期凍結の恐れがある場合は、以下の処置を行ってください。
※凍結した場合、ロータンクや便器が破損する原因になります。

■ 凍結防止方法

●標準式便器の場合

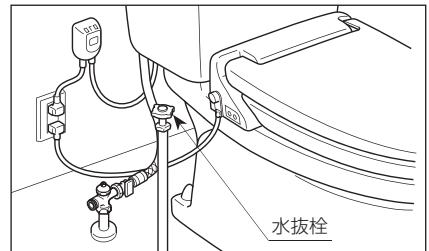
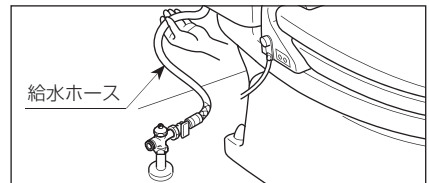
室内を暖房して、ロータンク内や便器内の溜水を凍結させないようにしてください。

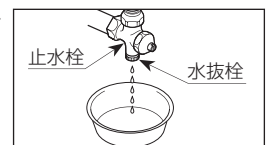
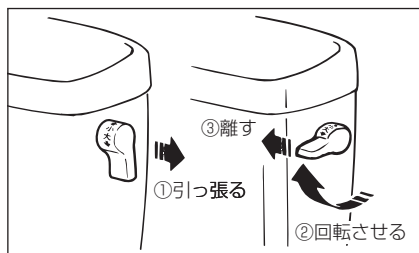
●流動式便器の場合

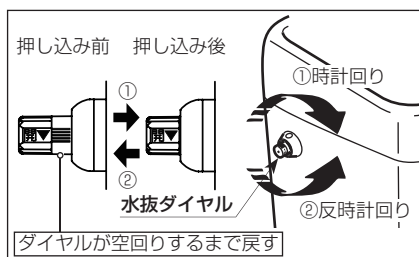
1. 流動ダイヤルを時計回りに回します。

※ 操作から約 1 分後にロータンク内の水が絶えず便器内に流れるようになります。流動状態を解除するには、流動ダイヤルを反時計回りに空回りするまで回して戻します。

●水抜式便器の場合

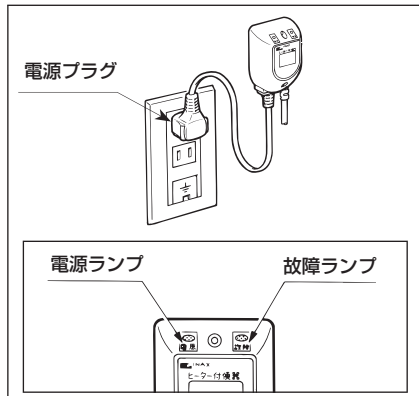
1. 室内を暖房し、水抜栓を操作してロータンクへの給水を止めます。このとき止水栓付便器の場合、止水栓は全開のままにしておきます。
   （ヒーター水抜き併用方式便器の場合は室内暖房の必要はありません。）

2. 給水ホースを持ち上げるようにして、ホース内の水を完全に抜きます。

注意

壁給水の場合は、止水栓に付いた水抜栓を操作してホース内の水を抜きます。
水抜操作後、止水栓の水抜栓はしっかり閉めてください。
※漏水により、家財などを濡らす恐れがあります。

3. 洗浄ハンドルを操作してロータンク内、配管内の水を抜いてください。
①洗浄ハンドルを横に引っ張ります。
②手前に回します。
③洗浄ハンドルが水平になったら手を離します。
④洗浄ハンドルが水平にロックされていることを確認します。

4. 水抜ダイヤルを時計回りに回して押し込み、反時計回りに空回りするまで回して戻します。
※この操作により、ロータンク内の水がより抜けやすくなります。

5. 再使用時は、水抜栓を操作してロータンクへの給水を行ってください。

●ヒーター付便器の場合

ヒーター付便器の場合は、さらにヒーターの電源プラグをコンセントに差し込みます。このとき電源ランプが点灯、故障ランプが消灯していることを確認してください。

注意

故障ランプが点灯したときは、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、取扱店または当社支社やお客さま相談センターへ連絡してください。

■トイレ内の使用限界温度について

凍結防止をしていただいても、下記条件からはずれると凍結する恐れがありますのでご注意ください。

●流動式便器の場合………－10℃以上
●ヒーター水抜併用式便器の場合………－15℃以上
●上記以外の便器……… 0℃以上
※環境条件により使用限界温度が変わることがあります。

修理を依頼される前に

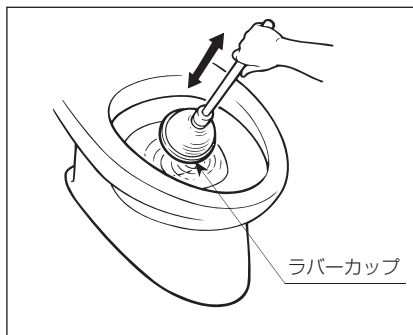
■故障かなと思ったら

簡単に故障が直る場合がありますので修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。保証期間内でも有料になることがありますので、下記項目や保証書の記載内容をよくご確認ください。

現象	原因	処置
便器が詰まった	便器に紙や汚物が詰まった。	ラバーカップを使用し、詰まりを取り除きます。(☞ 9、19 ページ参照)
ロータンクへの給水時間が長い	止水栓が十分開いていますか。	止水栓をマイナスドライバー等で左に回して全開にし、1/4 回転程度戻します。
	ストレーナーが目詰まりしていませんか。	ストレーナーの掃除をします。(☞ 19 ページ参照)
水の流れが悪いまたは、汚物がよく残る	止水栓が十分開いていますか。	止水栓をマイナスドライバー等で左に回して全開にし、1/4 回転程度戻します。
	ストレーナーが目詰まりしていませんか。	ストレーナーの掃除をします。(☞ 19 ページ参照)
	〈ECO4 タイプの場合〉エアドライブユニットのストレーナーが目詰まりしていませんか。	エアドライブユニットのストレーナーを掃除します。(☞ 23 ページ参照)
	〈ECO4 タイプの場合〉吸引ホースが抜けていませんか。	吸引ホースを接続します。
	トイレットペーパーを多めに流していませんか。	女性の小用で紙をたくさん使用した場合、小洗浄で使用されますと紙が流れない場合がありますので、大洗浄の方でご使用ください。(☞ 6 ページ参照)
		1 度に流すトイレットペーパーの量は、大洗浄では 5m 程度を目安にしてください。(☞ 9 ページ参照)
便器内に水が流れ続ける(水が止まらない)	〈流動式便器の場合〉流動ダイヤルが開いていませんか。	流動ダイヤルを回して流動を解除します。(☞ 15 ページ参照)
	補給水ではありませんか。	洗浄してから 5 分以内に水が止まるようでしたら、故障ではありません。便器の溜水を確保するための補給水です。
	タンク内の水位が調節されていますか。	5 分以上洗浄水が止まらない場合、「■便器洗浄水がなかなか止まらない場合」の確認を行います。(☞ 24 ページ参照)
ロータンクまたは便器下部に水滴が付いている	湿度が高く結露した。	こまめにふきとってください。また、換気を十分にしてください。(☞ 10 ページ参照)
床が濡れている(便器表面や止水栓は濡れていない)	尿が便器を伝って床に垂れた可能性があります。	床をふいてしばらく様子をみてください。それでも床が濡れている場合は、修理を依頼してください。
便器を洗浄すると「ゴボゴボ」と音がする	故障ではありません。汚物を便器から排出する際に、空気も同時に巻き込むためゴボゴボと音が発生します。	ゴボゴボと音が 2 秒以上続く場合は、通気管等を設置することで軽減できます。工事された業者さまへご相談ください。

<table>
<tr><th>現象</th><th>原因</th><th>処置</th></tr>
<tr><td>便器洗浄後に床下の排水管から「ポタポタ」と音がする</td><td colspan="2">故障ではありません。
便器の排水が床下にある排水管に落下する音です。</td></tr>
<tr><td>便器の水面の大きさが小さい</td><td colspan="2">サイホン式や洗い落とし式といった便器の種類によって水面の大きさが異なります。</td></tr>
<tr><td>洗浄時に、洗浄した水がはねる</td><td colspan="2">便器は勢いよく水を流し、汚物を排出する必要があります。そのため水と水がぶつかり水がはねる場合があります。</td></tr>
<tr><td>小便がはね返る</td><td colspan="2">洋風便器で立小便をする場合、小便がはねて外へ飛散し、床や壁を汚すことがあります。便器奥側にねらうよりも、水面の中央をねらったほうが小便の飛散を軽減できます。また、座ってご使用いただければ、より小便の飛散は軽減できます。
着座した姿勢で小便をする場合、着座位置や小便をする方向によっては、はね返ることがあります。着座位置をずらすか、トイレットペーパーを敷いていただければ、はね返りは軽減できます。</td></tr>
<tr><td>用便時に水がはね返る（おつり）</td><td>便器に水たまりがあることが原因ですが、下水からの臭気を遮断したり、汚物の付着を防ぐための大切な役割があるため構造上避けられない現象です。</td><td>あらかじめ、トイレットペーパーを浮かせてご使用いただけば軽減できます。</td></tr>
<tr><td>便器（陶器）にピンク色の汚れがある</td><td>空気中のバクテリアが、便器に付着した汚れを栄養に繁殖したものです。バクテリアは水中や空気中に分布しており、健康な人に害を及ぼす細菌ではありません。</td><td>中性洗剤を使用して掃除してください。
繁殖しやすいためこまめなお手入れをおすすめします。漂白剤を使うと除菌効果があります。</td></tr>
<tr><td>便器（陶器）の中に黒い粗状の付着物ができる</td><td rowspan="2">給水管のサビが洗浄時に流れて便器に付着したものです。</td><td rowspan="2">トイレ用酸性洗剤を布に含ませ、数時間程度付着した部分にあてて放置した後、布でふきとってください。</td></tr>
<tr><td>便器の中に、赤いサビの付着物がある</td></tr>
<tr><td>便器（陶器）を掃除していたらスジ状の金属キズがついた（メタルマーク）</td><td>便器と金属が接触すると、便器よりも金属が柔らかいためスジ状の線がつくことがあります。キズではなく便器表面に付いている汚れと同じです。</td><td>トイレ用酸性洗剤を布に含ませ、1 時間程度付着した部分にあてて放置した後、布でふきとってください。
応急処置として、市販のけんま材入りトイレ用中性洗剤でも汚れを落とすことは可能です。
※ただし便器（陶器）のうわぐすりを削りとってしまうため、強くこすらないでください。また、継続的な使用は控えてください。</td></tr>
<tr><td>子供の便が付着して落ちない</td><td colspan="2">幼児や児童等の身長が低い方がご使用になると、着座位置が浅くなり、水面の外側に便が落ちて付着するため、便器洗浄しても落ちない場合があります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">手洗い水が少ない</td><td>止水栓が十分開いていますか。</td><td>止水栓をマイナスドライバー等で左に回して全開にし、1/4 回転程度戻します。</td></tr>
<tr><td>ストレーナーが目詰まりしていませんか。</td><td>ストレーナーの掃除をします。
（☞ 19 ページ参照）</td></tr>
<tr><td>大洗浄と小洗浄の洗浄水量に差がないように感じる</td><td colspan="2">故障ではありません。大洗浄と小洗浄では洗浄水が約 1L ～ 2L 異なりますが、この水量差を見た目で区別することは非常に困難です。また、大洗浄と小洗浄の洗浄時間にも大差ありません。そのままご使用ください。</td></tr>
</table>

■便器が詰まった場合

市販のラバーカップを使用し、次の要領で詰まりを取り除いてください。
便器の排水口をふさぐように、ラバーカップを静かに押し付け、勢いよく手前に引いたり押したりを数度繰り返してください。
このとき、透明なビニールでカバーしておくと汚水の飛び散りを防ぐことができます。

■ロータンクへの給水時間が長くなった場合

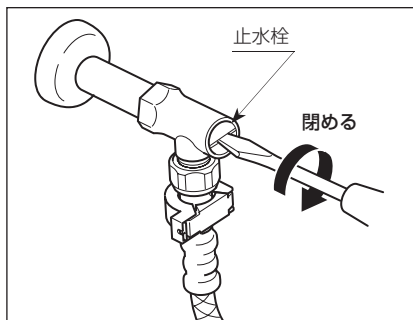
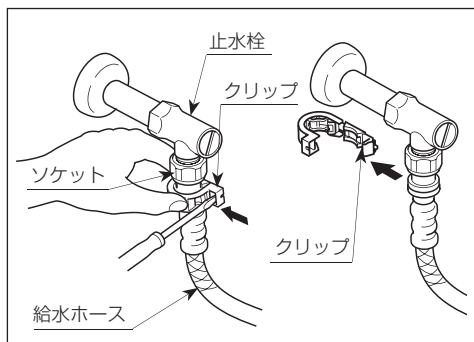
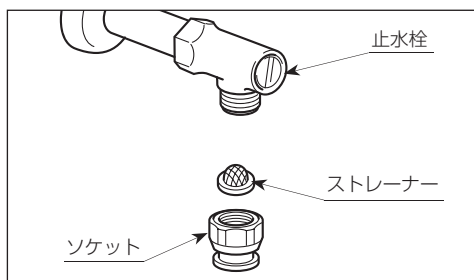
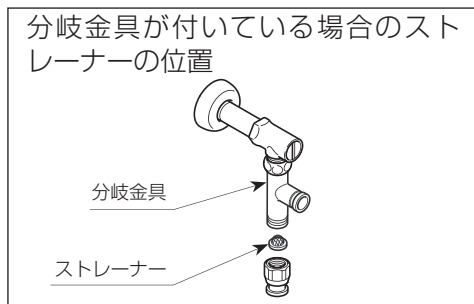
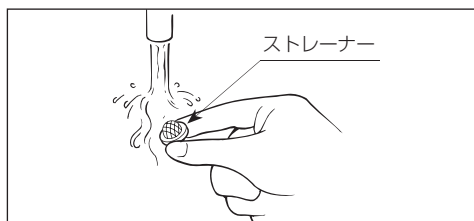
ストレーナーのゴミ詰まりが原因と思われますので、以下の手順でストレーナーのゴミを取り除いてください。

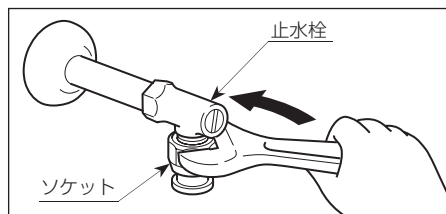
1. 止水栓をマイナスドライバー等で右に回して閉めます。

注意

止水栓のマイナス溝は樹脂製ですので、傷を付ける恐れがあります。
以下の点に注意してください。

※ マイナス溝にあうマイナスドライバーを使用してください。

※ 必要以上に閉めすぎないでください。

2. 給水ホースとソケットを固定しているクリップを図のようにマイナスドライバーを差し込んで外し、給水ホースをソケットから外します。
このとき給水ホース内の水が出てきますので、雑巾などを用意しておいてください。

3. ソケットを止水栓から外し、ストレーナーを取り出します。

分岐金具が付いている場合のストレーナーの位置

4. ストレーナーを水洗いしてゴミを取り除きます。
5. ストレーナーをソケットに取り付けます。

6. 止水栓にソケットを取り付けます。

このとき、ソケットをしっかりと締め付けてください。

7. 給水ホースをソケットに差し込み、クリップを差し込みます。

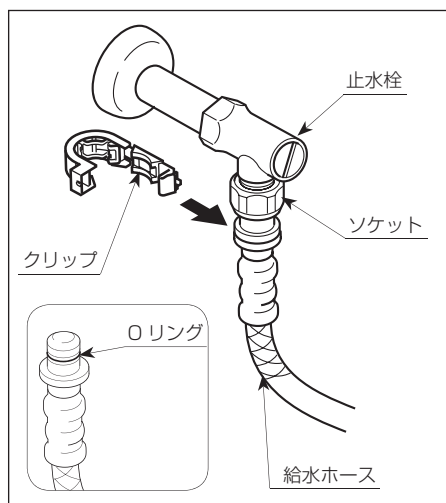
注意

O リングを傷つけないように注意してください。

※O リングが切れたり、傷ついたりすると漏水します。

⚠ 注意

給水ホースの接続は確実に行ってください。

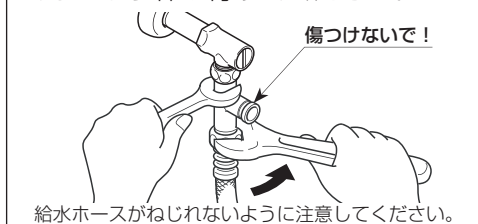
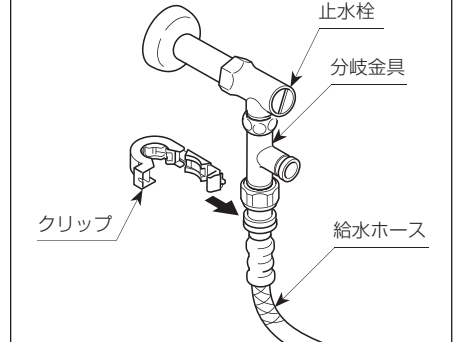
※接続部の固定が不十分ですと漏水の原因になります。

分岐金具が付いている場合の給水ホースの取付方法

クリップリング式の場合

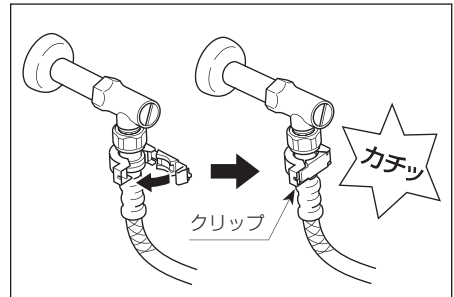
分岐金具の六角部スパナーまたはモンキーを当て、分岐金具を固定し、ソケットをスパナー等でしっかり締め付けてください。

袋ナットの場合

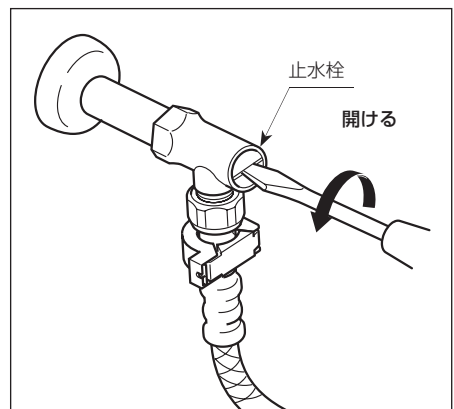
分岐金具の六角部スパナーまたはモンキーを当て、分岐金具を固定し、給水ホースの袋ナットをスパナー等でしっかり締め付けてください。

給水ホースがねじれないように注意してください。

8. クリップを折り曲げ、給水ホースとソケットを確実に固定します。

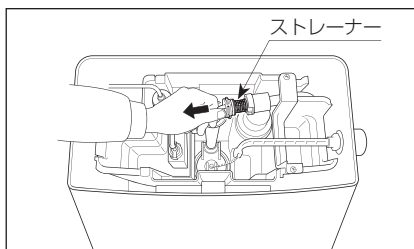
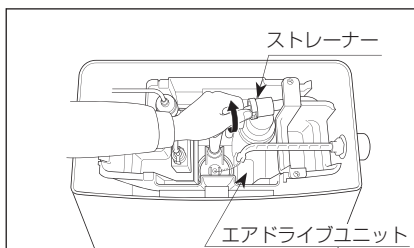
注意

クリップの先端がカチッと音がするまではめ込んでください。
※きちんとはまっていないと漏水します。

9. 止水栓をマイナスドライバー等で左に回して全開にし、1/4 回転程度戻します。

10. 給水時間が短くなったことを確認します。

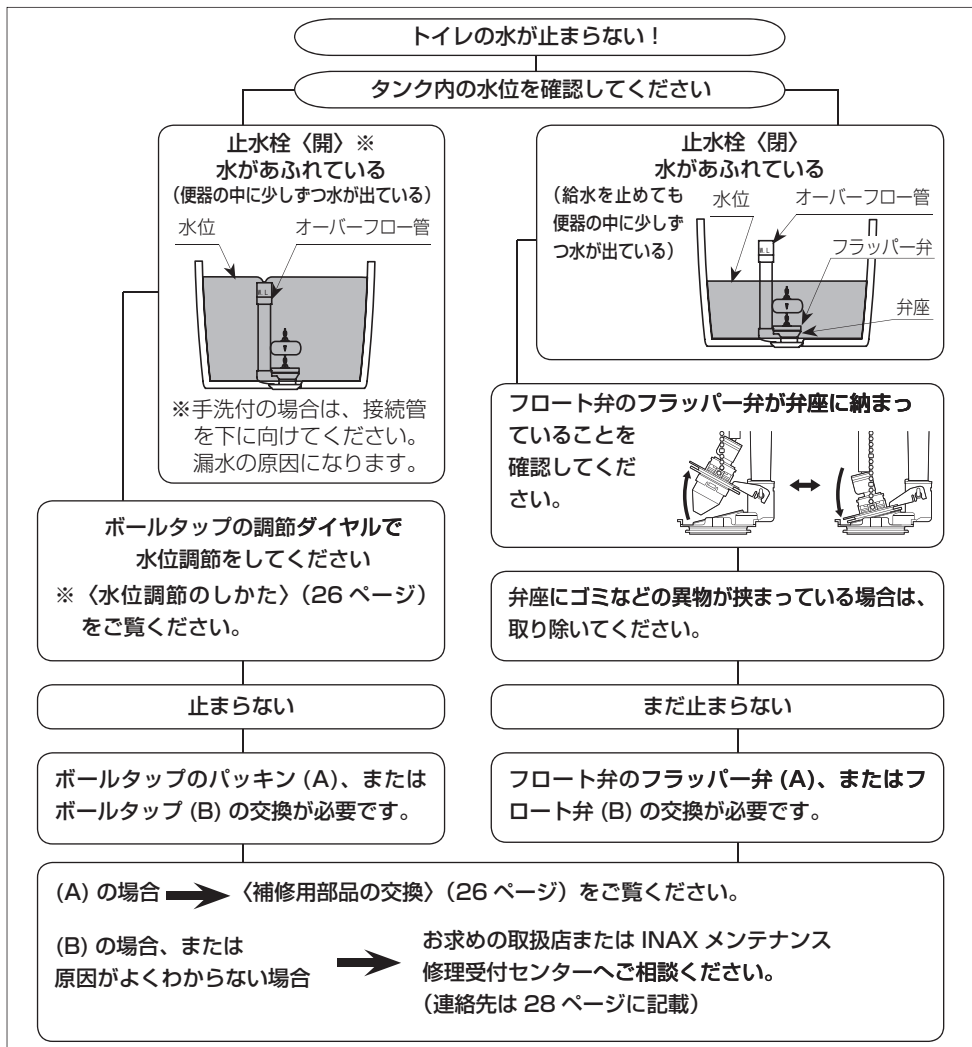
※接続部が漏水していないことを確認してください。

■水の流れが悪い、または汚物がよく残る場合

ECO4 タイプの場合、エアドライブユニットのストレーナーが目詰まりしている可能性があります。
以下の手順でストレーナーを清掃してください。

1. 止水栓を閉じます。
2. ロータンクフタと内フタを外します。
3. 吸引器上部のストレーナーのツマミを反時計回りに回し、ストレーナーを引き抜きます。
4. 詰まったゴミを流水などで洗い流します。
5. ストレーナーを吸引器に戻します。
6. 内フタとロータンクフタをはめ込みます。
7. 止水栓を開きます。

※止水栓の操作のしかたは〈ロータンクへの給水時間が長くなった場合〉(19 ページ)、内フタの外し方は〈内フタの外し方〉(25 ページ)をご覧ください。

■便器洗浄水がなかなか止まらない場合

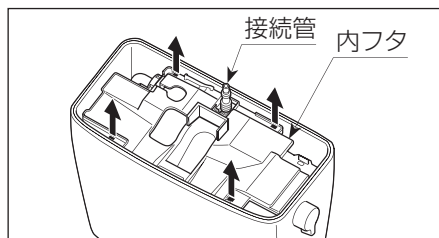
便器洗浄後 5 分以上たっても、洗浄水が止まらない場合は、止水栓を右に回して給水を止め、ロータンクフタおよび内フタを外して以下の確認を行ってください。

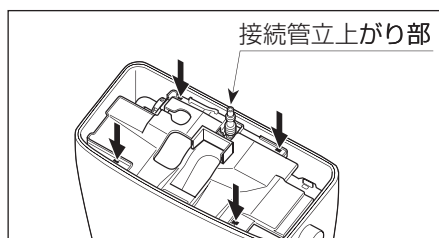
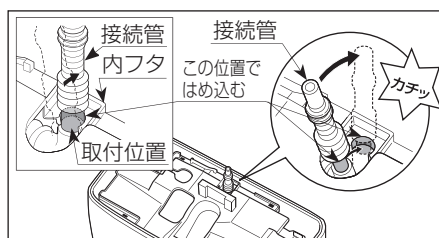
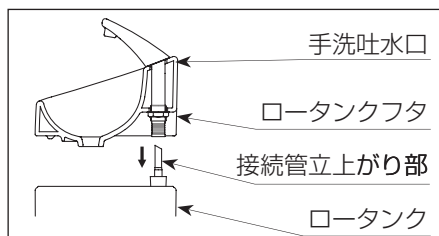
※止水栓の操作のしかたは〈ロータンクへの給水時間が長くなった場合〉（19 ページ）、内フタの外し方は〈内フタの外し方〉（25 ページ）をご覧ください。

〈ロータンクフタ・内フタの外し方・取り付け方〉

●ロータンクフタ・内フタの外し方

（1）ロータンクフタを外します

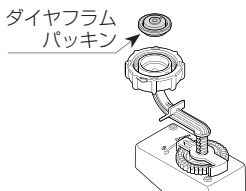
（2）手洗付の場合、接続管を内フタから外します。

（3）内フタのツメ４カ所（図中矢印）を外して、内フタを取り外します。

●ロータンク・内フタの取り付け方

（1）内フタに接続管を通し、矢印（図中）４カ所を押して、“パチン”と音がするまで内タンクにしっかりとはめ込みます。

(2) 接続管立上がり部を内フタにある接続管立上がり部の取付位置にしっかりとはめ込みます。

(3) 接続管立上がり部を手洗吐水口に差し込むようにして、ロータンクフタを載せます。

〈補修用部品の交換〉

ダイアフラムパッキンや、アームパッキン、フラッパー弁が劣化したり、キズ付いたりすると止水不良を起こすことがあります。

この場合は、対象部品を交換する必要があります。

■ボールタップ止水パッキン（品番：A-7630）

※ 交換方法は、付属の説明書をご覧ください。

※ お求めのタンクセット品番が右記に該当しない場合は、INAX メンテナンスまでご連絡ください。

※ 購入方法は、30 ページ“別売品の購入方法”をご覧ください。

■フラッパー弁（品番：A-7633、他）

タンクセット代表品番	フラッパー弁品番
DT-Z180U, Z150U, Z180HU, Z150HU	A-7633
DT-Z180P, Z150P	A-7633-1
DT-Z180T, Z150T	A-7633-2

〈水位調節のしかた〉

● **ロータンク内の水位（水面）がオーバーフロー管のウォーターラインマークに合っていることを確認してください。**

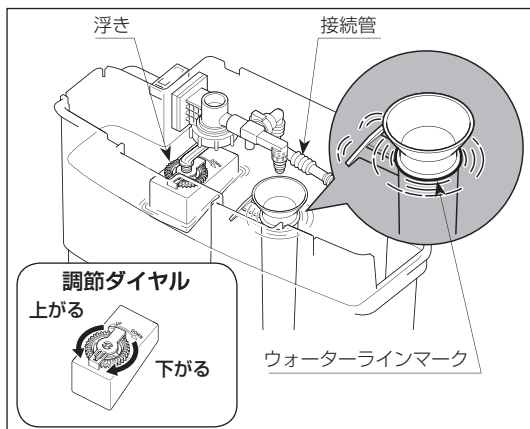
水位がウォーターラインマークに合っていない場合は、以下の要領で直してください。

(1) 手洗付の場合は、接続管を下に向けます。

(2) 浮きの調整ダイヤルを回して、水位をウォーターラインマークに合わせます。

（調節ダイヤルを 1 回転させると、水位は 3 ～ 4mm 変化します。）

(3) 調節後、便器洗浄を行い、水位を確認してください。

(4) 接続管 (手洗付) を元に戻し、ロータンクフタを取り付けます。

アフターサービスについて

1.修理を依頼される前に

「修理を依頼される前に」の項（☞ 17 ページ）を参照して確認してください。

2. 保証書と保証期間

保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は取付けの日から 2 年間です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

3. 修理を依頼されるとき

お求めの取扱店または INAX メンテナンス修理受付センターに修理を依頼してください。（連絡先は次ページに記載）

〈保証期間中は〉

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

〈保証期間が過ぎているときは〉

- 修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料にて修理させていただきます。

〈修理料金は〉

- “技術料” ＋ “出張料” ＋ “部品代” で構成されています。

〈連絡していただきたい内容〉

（1）ご住所、ご氏名、電話番号
（2）商品名
（3）型式番号［商品に表示（右図参照）］
（4）ご購入日
（5）故障内容・異常の状況
（6）訪問ご希望日

4. 部品の保有期間について

当社は商品の補修用性能部品（商品の機能を維持するために必要な部品）を製造打切り後最低 10 年保有しています。この部品保有期間を修理対応可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますのでご相談ください。

5. アフターサービス等についておわかりにならないとき

「お客さま相談センター」または INAX メンテナンスへお問い合わせください。

使い方・お手入れ方法など、商品についてのお問合せは

お客さま相談センター

TEL 0120-1794-00
FAX 0120-1794-30

受付時間　平日　9:00〜18:00
土・日・祝日　9:00〜17:00
(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

※ フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP電話などではご利用になれない場合がございます。
下記番号をご利用ください。
TEL：0562-40-4050
FAX：0562-40-4053

修理のご依頼は

お求めの取扱店または
INAXメンテナンス　修理受付センター

TEL 0120-1794-11
FAX 0120-1794-56

受付時間9：00〜20：00（365日受付）
ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

別売品のご案内

当社では、快適なトイレ空間造りのお手伝いとして、メンテナンス用品をはじめとする、数々の別売品を用意しております。

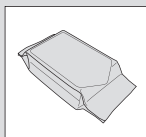
※ 別売品について詳しくお聞きになりたい方は、「お客さま相談センター」へお問い合わせください。（連絡先は 28 ページに記載）

別売品について

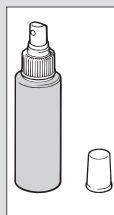
〈メンテナンス用品〉

■トイレ用おそうじティッシュ（品番：CWA-36-4SET）

樹脂を傷めず、除菌効果に優れたトイレ専用ウェットティッシュです。

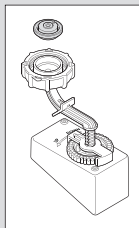
使用後、便器にそのまま流せます。(☞ 12 ページ)

■シャワートイレお掃除クリーナー（品番：CWA-20）

樹脂を傷めないスプレー式シャワートイレ専用洗剤です。シュッと吹きかけて、ただふき取るだけ。

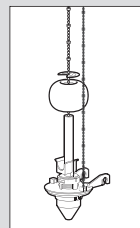
脱臭剤配合で便器にもご使用になれます。(☞ 12 ページ)

〈補修用部品〉

■ボールタップ止水パッキン（品番：A-7630）

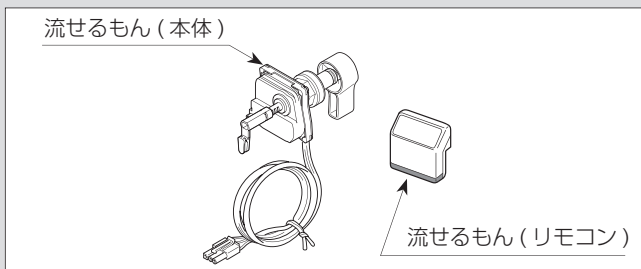
水位調節してもボールタップからの水が止まらない場合の補修用部品です。

(☞ 26 ページ)

■フラッパー弁（品番：A-7633、他）

フラッパー弁が劣化や破損している場合の補修用部品です。

(☞ 26 ページ)

〈機能アップ商品〉

■流せるもん
（品番：CWA-67B、他）

リモコン操作で便器洗浄を行います。

別売品の購入方法

●直接、購入される場合

弊社商品の取扱店でお求めください。

●宅配サービスを利用される場合

INAX メンテナンスにご連絡ください。
宅配サービスにてお届けいたします。（宅配サービスでは送料が別途必要となります。）

[電話注文]

電話番号　0120-00-1794
受付時間　9：00 ～ 17：00（夏期・年末年始の休みは除く）

[インターネット利用]

下記ホームページアドレスにアクセスして、商品をお求めください。
http://inax.lixil.co.jp/aftersupport/(24 時間受付)
（インターネットではお取扱いしていない商品もございます。あらかじめご了承ください。）

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。
個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。
下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求め取扱店に修理をご依頼ください。

品名：W節水洋風タンク密結便器（　品番：			）
保証期間：取付日より2ヶ年			
	取付日		年　月　日
お客さま	おなまえ		様
	おところ	おでんわ	（　　）　－

無効

無料修理規定（保証規定）

1. 「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
2. 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
3. ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合、本書内にある「アフターサービス」に掲載の、INAXメンテナンスにご相談ください。
4. 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。
   (1) 一般家庭用以外（車両・船舶及び使用頻度が高い業務用など）に使用した場合の故障及び損傷
   (2) 施工説明書に指示する方法以外の工事または取付が原因で生じた故障及び損傷
   (3) 不当な使用や不注意・過失で生じた故障及び損傷
   (4) 掃除・維持管理上の不備による汚れ・さびなどによる不具合
   (5) 不当な修理・改造や取付後の移動を行ったことが原因で生じた故障及び損傷
   (6) 建物の柱・壁・床の変形（強度不足、ゆがみ）など、製品以外の不具合で生じた故障及び損傷
   (7) 消耗部品（パッキン・電池・電球など）の劣化
   (8) 公害やガス害（硫化水素ガスなど）、気象条件及び環境条件による現象（凍害・塩害・結露・染みだし・かびなど）、異常水圧・異常電磁波による故障及び損傷
   (9) 小動物（ねずみ・昆虫など）の行為によって生じた故障及び損傷
   (10) 火災・地震・水害・落雷、その他の天災地変よる故障及び損傷
   (11) 戦争・暴動などの破壊行為または犯罪などの不法行為によって生じた故障及び損傷
   (12) 温泉水・中水・井戸水などの水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことによって生じた故障及び損傷
   (13) 異物の配管内流入・水あか固着・排水の詰まりによって生じた故障及び損傷
   (14) 指定外の電源（電圧・周波数）によって生じた故障及び損傷
   (15) 保証書の期限切れ、または提示がない場合
   (16) 本書に品番・取付日・お客さまのお名まえ・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

本書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買い求めの取扱店または本書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後最低10ヶ年です。

取扱店

株式会社 LIXIL

ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/